

スクリーニング法

冠動脈造影の必要性

歳以上，喫煙歴 5 pack years 以上，25 年以上の糖尿病罹患歴，安静時心電図における ST-T 変化等である¹⁾。心血管リスクの明確なスクリーニング法は決まっていないが，心電図，胸部レントゲン，上記のリスクファクターを有する際には，運動負荷シンチグラフィー等を検討する。必ずしも全例で冠動脈造影が必要なわけではない²⁾。

II 臓器移植希望者への対応

- point ▶ 臓器同時移植患者の適応は，明確には決まっていない。
▶ 臓器同時移植のメリットは，deceased-donor からの移植の場合は同時移植による生存率が改善すること，QOL の改善にある。

臓器移植の適応

臓器同時移植の適応

臓器移植の適応は，① 糖尿病専門医が長期に治療難渋する 1 型糖尿病患者，または，② 腎不全に陥った糖尿病患者のなかで，臓器移植の適応基準に該当し，かつ内因性インスリン分泌の低下をきたしている症例である。これらのうち，臓器同時移植に関連するものは後者の患者に限定される。臓器同時移植患者の適応は，明確には決まっていないが，米国では年齢・臓器機能・C ペプチド分泌能・BMI などで規定されている。臓器同時移植を行うメリットは，deceased-donor からの移植の場合は臓器同時移植による生存率がより改善すること・QOL の改善（頻回な血糖測定，低血糖，インスリン治療などが必要なくなること）にある^{3)~5)}。

ただし，日本ではまだこれらの症例数は少なく，同時移植を行える施設は限られているため，専門の施設に紹介する必要がある。

III 透析患者における血糖管理

- point ▶ 透析患者では HbA1c は過小評価されるため，治療目標に設定することは推奨されない。
▶ 日本透析医学会のガイドラインでは，グリコアルブミンを過去 2~4 週間の血糖コントロール状況の判断材料とすることを推奨している。

HbA1c の目標値

通常，糖尿病患者は，治療目標に合わせて HbA1c の目標値を変えて，血

【用語解説】

- pack year
1 日に何箱のタバコを何年間吸ったかをかけ合わせた値。
例：1 日 1 箱を 1 年=1 パックイヤー，1 日 2 箱を半年=1 パックイヤー